

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和4年度 第2回三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会
開催日時	令和4（2022）年10月14日（金）14:00～15:45
開催場所	みとよ未来創造館 2階 A・B会議室
出席者氏名	山神委員、宮崎（勉）委員、前田委員、大矢根委員、秋山委員、柚本委員、佐藤委員、宮崎（和代）委員、高橋委員、瀧本委員、小林委員
欠席者氏名	北川委員、草薙委員、金子委員、石川委員
事務局職員氏名	市民環境部 横関部長 人権課 西岡課長、河田主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第4次三豊市男女共同参画プラン 施策体系の考え方について (2) 第4次三豊市男女共同参画プランの計画書骨子案（構成案）について (3) その他 3 閉会
配付資料	<p>議題資料1 第4次三豊市男女共同参画プラン 施策体系の考え方</p> <p>議題資料2 第4次三豊市男女共同参画プランー骨子案ー</p> <p>議題資料2 参考資料 骨子案P16以降の「既存の取組」について（説明用資料）</p> <p>参考資料1 数字で見る男女共同参画を取り巻く現状</p> <p>参考資料2 第3次三豊市男女プラン施策の具体的取組状況一覧（令和3年度実績）</p> <p>次第、委員名簿</p>
その他	

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・出席者の確認
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会議、会議録の公開について説明
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・議事(1) 第4次三豊市男女共同参画プラン 施策体系の考え方について、説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料の確認
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料1説明
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次プランの基本目標に「人権の尊重」があるが、第2次プランにも入っていたのか、いつから入っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・四つの基本目標は、第1次より変わっていません。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権の尊重」が第3次プランでは4番目、第4次では1番目に入っている。基本目標の順番は重要なものが最初に来ると承知しているので、順番の変更があった理由を知りたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのものに人権が根底にないと、何をやるにしても人権を無視して成功はないだろうと三豊市庁舎内で取り組んでいます。人権というのは広い概念ですが、作る以上はしっかり周知していかないといけないということと、前回出された「人権をもう少し重要視しては」という意見を踏まえて最初に持っていきました。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・普通は意識改革が最初に来て、参画の推進が出てくるはずだと思う。 ・体系の中身は「三豊市人権尊重のまちづくり条例」から来ているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この条例の前は「三豊市人権擁護条例」で、一部の人権課題に特化したようなものでした。しかし個別の人権課題はもちろん、人権を広く大きな概念として捉えていく方が時代の流れに即しているのではないかと、条例そのものも広い意味での人権で作り替えています。行政だけでなく、市民も人権をもう少し考えてもらいたいという思いも入っています。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・同じように思っていた。人権を尊重したベースは外せないが、男女共同参画は社会を作るという概念の要素の一部であって、本来の目的ではない。三豊市は多様性のある市を目指して条例を作っているので、三豊市の男女共同参画の冊子としてはよいと思うが、男女共同参画だけでいえばどうかと思う。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・三豊市ならではである。今は多様性の時代なので、先進的なものを打ち出してきたことを含めた内容と感じている。それを理解した上で推進していけばいいと思う。 ・その他にあれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「重点」と書かれている項目について聞きたい。女性活躍推進法が入ってきたときに、その法律でプランを立てたと記憶している。しかし男女共同参画プランと合わせて2冊作るのはそのときの自分たちの力では難しいとなって、1冊で両方兼ねるものを作ろうとなった。その際に女性活躍推進法のプランで中心に置きたいようなものに「重点」という印を初めて付けた。今回はそうではなく、全体の中から特にこれはという項目に「重点」を入れることにしたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回説明ができていませんでした。この施策体系は「案」なので、皆さんの意見を踏まえていきます。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「重点」と付けるのは女性活躍推進に関することだったが、今回は新たに今の時代の重点項目につけることにしたのかどうかを確認したい。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議で、重点事項を三つ置くことをご説明したと思います。実際に付いているのは四つですが、ばらけているものもあるので、実質三つです。 ・女性活躍推進に関しては、基本目標Ⅲに女性活躍推進計画を包含する形で入れています。なおかつ、基本目標Ⅰの基本施策2にはDV防止市町村基本計画が入っています。今回の男女共同参画プランは女性活躍推進計画、DV防止市町村基本計画が一つの冊子に包含されていると理解してもらえたらと思います。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・重点と書かれているのは違った形で、今回作ったということだ。 ・事務局としてさらなる説明があれば伺いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・秋山委員に質問があるようでしたら、答えたいと思います。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回新たに重点項目を決めたということなので、問題ないと思う。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて(2)第4次三豊市男女共同参画プランの計画書―骨子案―について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・概要説明
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料2説明
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いた点などあれば伺いたい。 ・参考資料1の説明はあるのか。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料1説明

議事内容（要旨）	
瀧本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な印象として、前回よりもすっきりしていて分かりやすい。項目ごとにある現状の整理と主な課題もシンプルで的確だと思う。 ・5年前に比べて、高校生と事業所へアンケートでよく聞いていて、やっと三豊市も分かってきたと感じ、アンケートの意義が大きいと思っている。これをどう有効に使っていくかということでもある。実態把握という点では一歩前進したと受け止めている。 ・前回提案された教育について「私はピンとこない」と言ったが、今回基本施策2に入っているのは納得だと思った。アンケートでは要望が多いので取り上げたのかなというのと、特に中高生、思春期の子どもたちへの教育が大事だということからだろう。 ・デートDVなど学生の「性の教育」を含めた取組を進めてもらいたい。もちろん性教育は学校で進められていると思うが、もっと正しい知識として学校教育のプログラムに組み込まれていく必要があると日頃から思っている。社会に出る前にDV、被害に遭った場合の対処方法もきちんと教えていく必要がある。高校生でも遅いくらいと思う。本当は文部科学省がやっていくべきだと思うが、三豊市の教育委員会で独自の教科書でも作って、力を入れてやってもらいたい。性に関する総合的な学校教育の重要性という意味で入れてもらいたいと思う。 ・議題資料2の21ページについて「相談窓口まで来ることができれば問題は半分解決している」と弁護士から聞いたことがある。その話を聞いた当時から時代が変わっていると思うが、そのくらい本人が相談窓口に来るのは大変だ。連れて来るフォローをどうするかというのもあるが、間口を広げてできるだけ敷居の低い体制で受け入れられるような窓口を作ってもらいたい。案件によっては弁護士の派遣をやっている所もあるので、体制を考えてもらいたい。 ・同ページの主な課題に「メンタルヘルスに関する様々な困りごとや悩みなど、専門的な相談支援体制の整備が必要です。」とある。これも大事になってくる。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・要望だと思う。取組内容を文章化するという説明があったが、その中に入れるかどうか検討が必要だと思う。
瀧本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで言って終わりではなく、教育委員会や各部署に伝えてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この場で事務局と（株）ぎょうせい話を聞き、次に提示するのではなく、今日の意見は関係各課と共有し、現在の取組や改善点などを語り、次の会議に臨むつもりです。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・そこで公開という意味合いがある。必ず共有、伝達し、次にということだ。 ・その他にあれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5点ある。 ・ まず議題資料2の8ページの基本理念の文章に「策定当初から『一人ひとりが自分らしく輝くために ～誰もが住みやすく働きやすいまちへ～』と定め」とあるが、第1次プランには波線が付いている言葉がなく「一人ひとりが自分らしく輝くために」だけだった。第2次で、第1次とは違う意味で何か入れようと、波線部分がサブタイトルとして入った。それが第2次、第3次と続いているが、本計画の第4次では新たなものを付けたらいいと思った。「サステナブルな暮らしやすいまちへ」「多様性を大切にする暮らしやすいまちへ」などにすれば、マッチすると思う。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サブタイトルを変えてはどうかと、新しいサブタイトル案の意見が出た。サブタイトルを変えるかどうかは、この委員会のできるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会の意見が強いということであれば、決定します。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ではサブタイトルを変えることについて、どうか。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そもそも文章が間違っている。策定当初は「一人ひとりが自分らしく輝くために」だけだった。まずはその訂正をお願いしたい。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見として出たので検討したい。 ・ 基本理念はこのままでいく、サブタイトルを削除する、新しいサブタイトルを付けると、いろいろな考え方があある。基本理念なので大事なところだ。これに則って骨子案が作られる。意見を伺いたい。
大矢根委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様性を入れたものがあった。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時代に即応した言葉だが「サステナブル」は英語なので分かりにくいかもしれない。「多様性」なら分かりやすいかもしれないし、日本語の「持続可能な」に言い換えてもよいかもしれない。 ・ では、新しいサブタイトル案にするかは別として、変えてはどうかという意見が出たということではどうか。時代に即応したキーワードを入れたものを検討してほしいという意見、新たな案が出たと伝えてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回の会議でいくつかパターンを用意します。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に冊子内で多用されている「取組」という言葉についてだが、送り仮名のない漢字2文字の「取組」はここで初めて見た。第1次から第3次までは違う。国語教師の立場からいえば、受付のように一般的に使われているものは送り仮名なしを認めるとなっているが「取組」はどうか。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・ この冊子は全て常用漢字に従っています。「取組」については、名詞的用法の場合は漢字2文字の「取組」、動詞的用法の場合は「り」「み」が入って「取り組み」という使い分けをしています。そこで「取組」に統一していますが、決まりはないので、変更したいというのであればそれでも構いません。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動詞で使う場合は「取り組む」かもしれない。タイトルで使うのは「取組」と理解している。

議事内容（要旨）	
秋山委員	・皆がよければ「取組」でよい。
事務局	・時代が変われば表現も変わるとは思いますが、今、市役所が発行するのはルールに基づいて作成したいと思っています。
山神会長(進行)	・では、漢字2文字の「取組」とする。
小林委員	・表記の問題について、参考資料1の令和3年度の達成状況に「行なった」という表記があるので、他の「行った」に合わせてもらいたい。
山神会長(進行)	・訂正すべき点は訂正してもらいたい。
秋山委員	・三つ目について、議題資料2の9ページ基本目標Iの基本施策1「施策の方向（2）性の多様性に対する理解の促進」について、人権をトップに持ってきて、多様性をメインに位置付けるなら、前回と同じ言葉では比重が軽いと思う。人権を上を持ってくるのであれば「性の多様性に対する理解・協力・支援の促進」という施策の方向にしてもらえると嬉しい。理解だけでは不足だと感じる。
事務局	・有り難い意見です。持ち帰って検討したいと思っています。
秋山委員	・四つ目はグラフについてだ。議題資料2の26ページまでは縦のグラフなら左側、横のグラフでは上側に男性の値がある。グラフを作成するとき、男性を左や上側に置くルールはないのに、女性がそこにあるグラフはこれまで見たことない。視覚優位という言葉がある。上座という表現があるように、上側の方が価値があるというイメージを持っている人が多くいる。男女共同参画をやっているのに、グラフだけは何十年も同じものを使っていることが恥ずかしくないのかというイメージを持った。
(株)ぎょうせい担当者	・グラフについては、アンケートの選択肢が「1男性、2女性」となっているので、その順番通りに作っています。 ・他の自治体の会議では、選択肢の順番を「1女性、2男性」という指示があります。その場合はグラフも当然逆になります。 ・今回のグラフについても、男女逆にという意見になれば変更します。
秋山委員	・26ページのグラフは女性がほとんどなので、女性の部分を見てもらいたい。見てもらいたいものが右側なのは何故かということだ。
山神会長(進行)	・そうするとグラフごとに変更しなければいけないが、結果は分析してみないと分からない。また「男女」という言葉があるが「女男」とはいわない。一般化させる話ではないが、一つのワード的な使い方として「男女共同参画」となっている。大きな意味を置いているのではなく、そういう使い方をしている。 ・性別の選択肢については性の多様性があるので、今後もっと変わってくる可能性がある。よほど問題があるのなら変えるとよいが、現段階では使ってきたやり方でよいと個人的には思う。一般市民も見つものに、今あえてそこまでする必要があるのかと感じる。
秋山委員	・せめて色を逆にすることはできないか。グラフで注目してほしい方に色を付け、そうでない方を白くする。

議事内容（要旨）	
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフは統一性がないと、データを分析する上ではよくない。全部逆にするならよい。現状でも女性が目立つし、逆にしても変わらない。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に議題資料2の45ページ基本施策8（1）「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」について、福祉には誰もが安心して暮らせるという意味を持っているので「頭痛が痛い」のような表現になっている。どちらかだけでよいのではないか。
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が目にするものなので「誰もが安心して暮らせる」を残して「福祉」を削除してもよいと思います。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・では「福祉」を削除する方向で進めてもらいたい。
小林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを取る時点の問題になるが、今回のアンケートは「男性、女性」になっている。最近「男性、女性、答えたくない・その他」と、選択肢がもう一つ入っているので、今後は加えた方がよい。 ・議題資料1の基本目標Iの基本施策2、施策の方向3ハラスメント防止対策の推進について、プランに落とし込む前の真ん中の主な課題を見ても同じ文言となっているので、現実的に何かしようという方向ではないのかと思ってしまう。ほかは課題からプランに落とし込むときに、表現の仕方が変わっているので、こんなふうにするのかというのが見えてくる。
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料1の主な課題はスペースの関係もあり、かなり要約しています。詳しくは議題資料2の22、23ページにあります。
宮崎（和）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料2の34ページの「みとよ若嫁ファーム」は、ここでは表現が合っているが、今年7月「みとよ green ふぁーむ」に改名した。 ・35ページ既存の取組の92番「女性起業グループなどの交流促進」について、農業では「みとよ green ふぁーむ」だけしかないのでは、他の商業などの起業グループと交流するということか。 ・91番「女性の認定農業者への誘導の推進」は全くされていない。いろいろな役を依頼されるとき、女性で認定農業者という括りがあるが、何人かしかいないのでその中で回し、重複して役をやっているため、ものすごい負担だ。本当に推進しているのか疑問に思う。前から要望しているが、女性の農業者の動向を県も市も把握していない。私たち世代の下は誰も継ぐ人がいないのが課題にもなっているので「推進」「促進」ではなく、もっと強い表現にしてほしい。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・強く関係者に求めるということだ。よく「推進」「促進」という言葉を使うが、前向きではあるものの実態が伴わない場合もある。切なる声だと思うのでよろしくお願ひしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに出された意見は、関係部署に必ず伝え、検討したことを提案していきたいと思います。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・今日出された意見を関係部署に伝え、その後どうだったかのレスポンスまでであるとよい。大変だと思うがよろしくお願ひしたい。

議事内容（要旨）	
宮崎（勉）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど学校の実態について話があったので、学校の立場から話したい。 ・人権問題を考えるときに、小さい頃から出会いが一番大事で、間違った出会いをしたら考え方を修正するのは大変なので、最初の出会いが大事だとよくいわれる。男女差別、性別の違いについては、男女差別をするような家庭も正直あるが、最近の学校の子どもたちは男子、女子をあまり意識しない。昭和の時代、中学校の生徒会長はほぼ男子で、女子の生徒会長だと驚く風潮だったが、時代が変わり、男女どちらが生徒会長でも関係ない風潮になっている。名簿も男女混合名簿が普通になっているので、子どもたちにも当たり前の世界になっている。そして高校受験の願書で性別を記入する欄も、昔は「男・女」でどちらかに丸を付ける形だったのが、あるときから空欄に自分で記入するようになっていく。書かないという選択肢は把握していないが、丸を付ける形式から変化している。また小学校のときは性差別の意識はほとんどない気がする。人数が少ないので、男女関係なく仲良く、性別を意識していないようだ。一方大人社会に近づいてくる高校生になると、いろいろな思いが出てくるのだと思う。中学生くらいで考えるようになるようだ。 ・性教育については、文部科学省が学習指導要領で教えることを明示している。ここからここは扱わないと指定している部分もある。人間の場合、小中学校では受精以後の出産、成長は扱うが、受精までは扱わないとなっている。それが全国の基本となり指導を行っている。 ・相談機関については、確かに早い時期からDVの相談機関が分かっているとよい。今ははじめがたくさんあり過ぎて、ちらしやカードをいっぱい作って配布するが、あり過ぎて子どもたちも分かっていないのではないかという気がする。相談窓口に行けば半分解決するのなら、三豊市の小中学生や高校生、一般市民がそこに行けば、連絡すればいいという共通理解があればいい。たくさん作るよりも一箇所強い組織、相談場所があれば、うまく進むと思った。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の小中学校から性の問題などの話や提案があった。
瀧本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどで本来の男女の在り方から外れるような体験をしていく子どもたちを危惧している。子どもができる、暴力を受ける、監禁される可能性もあるので、受精も含め正しい知識を早い段階でやってもらうとともに、愛のようなソフト面やメンタル面も含めてやっていかないと片方だけ重視しているような気がする。性を柔らかく、肯定的に捉えられるような機会が必要だと思う。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて大切なことを話してもらった。 ・その他にあれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料2の9ページ施策の体系の基本施策3（2）は若い世代に特化しているが、何か意味があるのか。男女共同参画の意識づくりは若い世代だけでなく、いろいろなところに関係してくるのではないか。例えば祖母世代は、母親は24時間子どもと一緒にいなさい、父親は外へ行っていいというような考えだ。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の意識づくりは、24ページから始まります。まず全世代をターゲットにするのは当然で、啓発を進めるということを押さえています。26ページは（2）若い世代の心を大切にしたい男女共同参画推進ですが、高校生アンケートから様々な課題が出てきたので、それらを踏まえた上で特にこれから男女共同参画を担っていく若い世代に注力した形で男女共同参画を進めていくことが大事だろうと、こういう項目を起こしました。27ページは、これまで通り教育・保育の現場における意識啓発、28ページは青年層から高齢層まで含めて生涯学習の場での男女共同参画を学ぶ場を充実する取組という流れで作っています。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代だけに特化しているので疑問に感じた。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問を感じることはないよう、事務局と協議します。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらの伝えたいことがその通りに伝わらないことが分かりました。ありがとうございます。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料2の49ページ（2）妊娠から子育てへの切れ目ない支援の充実や40ページ（3）仕事と家庭生活の両立に向けた支援の充実について、学童保育など子どもを預かる事業、地域子育て支援拠点事業の充実は入っているが、制度があっても使っているのは人間だ。子どもの有無に関係なく、困ったときに孤立してどこにも相談できないときが一番つらいのに、相談業務の充実が重点に入っていない。ハードな部分だけがクローズアップされるが、誰かに相談できる、同じような気持ちの人と交流できる場があれば、気持ちがすっきりして次に行こうとなるのではないか。そこを充実してもらえたらと思う。 ・三豊市は、こども食堂や子育て支援、保育所の民間委託など民間が活躍していて、民間の力で支えていることが多い。例えば土日の相談業務など行政ができない隙間をどんどん埋めている。そこで行政と民間のネットワークづくりがこれから必要になってくるのではないか。ここの部分が三豊市は弱い。 ・私たちが三豊市から委託された事業を行っている。一つの家庭を皆で支えていくところをやっつけていこうとしているが、行政と話がうまくいかないこともある。民間とのネットワークづくりができ、一軒の困っている家庭に行政と民間ができることを行えば、社会全体で支えていける。民間とのネットワークづくりも入れてもらえたらと思う。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状をいろいろと話してくれたので、取り入れられるものがあれば検討してもらいたい。

議事内容（要旨）	
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料2の34ページで格差について触れている。もう少し賃金格差について突っ込むと、就業率の高さだけでは見えてこないものがある。恒常的業務が多いことや女性は重要な仕事を任せてもらえないため昇給や昇進がない。賃金格差まで踏み込んでいくことにより、女性の活躍推進だけでなく、シングルマザーの自立支援につながるのではないかと思う。格差の部分の原因と対策にも触れてもらえたらと思う。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料2の15ページのグラフ「女性を管理職に登用する際の課題」をみると「女性従業員自身が、管理職になることを望んでいない」「管理能力の面で、女性の適任者が少ない」等ある。ワーク・ライフ・バランスにも関連してくると思うが、課題を解消するための具体策など、この先を求めるアンケートはないのか。30ページのポジティブ・アクションに対する取組にもからんでくると思うが、教育などで能力の向上やモチベーションを上げる、女性採用枠を作る、居心地の良い事業所にするなどすればよいと思う。 ・毎年アンケートをしていると思うので、アップデートしていく必要がある。せっかくいいことを聞いているので、その結果に対して、具体的に取組目標などに適切に反映すればよい。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りだ。どう生かしていくのか、具体的取組にどう持って行けるかだ。関係部署、担当部署が詰めて、少しでも改善され、アンケート結果が良い方向に持っていければよい。そのためのアンケートだと思う。
前田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の話に関連して、民生委員の立場から話したい。女性の活躍推進がいわれ、女性の民生委員が増えているが、七つある協議会で女性の会長がどこも出てこない。能力がある人もいるので、ぜひ会長になってもらいたい、そうならない。女性会長が出てこられる環境づくりを考えないといけなない。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の組織で女性の会長が出ないというのは、よそでもあると思う。解決策、支援策を行政がどこまでやれるかだと思う。 ・今回は要望もたくさん出た。 ・これから第4次プランを策定するが、現在取組に入っている番号はどうするのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一度全部見直します。プランでは文章になります。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業を事務局と関係各課で話し合い、場合によっては統合させるなどの作業を行います。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次プランは既存の取組を基本に、一部統合や削除を行う。そのため番号が変わるということか。表示の仕方が分かりにくくならないか。

議事内容（要旨）	
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・番号はチェック用に入れています。冊子として仕上げる際に番号を削除します。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・大変な作業だと思う。 ・今日の意見を踏まえて再検討して、第3回に案として出してもらえるとということだ。 ・これで議事を終了とする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・閉会

以上